レース名	斤量	クラス	コース	距離	馬場	レース質	荒れ度	自信度
共同通信杯	別定	GII	東京	芝1800m	良想定	平坦	順当	D

枠番	名前	騎手	父	父系統	母父	母父系統	斤量	能力	コース	馬場	血統	展開	総合	人気	印	結果
1	ディオスバリエンテ	石橋脩	ロードカナロア	キングマンボ	サンデーサイレンス	サンデーサイレンス	56	Α	В	В	В	Α	Α	5	<b>A</b>	11
2	キングストンボーイ	ルメール	ドゥラメンテ	キングマンボ	フォーティナイナー	₹ <i>ス\$-</i> プロスペクター	56	C	C	С	C	В	C	6	△3	4
3	ステラヴェローチェ	横山典	バゴ	ブ゛ラッシンク゛ク゛ルーム	ディープインパクト	ディープインパクト	57	Α	В	В	В	В	Α	1	$\circ$	5
4	プラチナトレジャー	田辺	キングカメハメハ	キングマンボ	クロフネ	<b>ヴ ァイスリージェント</b>	56	C	Α	С	В	С	C	9	△4	7
5	ディープリッチ	北村宏	ディープブリランテ	ディープインパクト	Songandaprayer	ミスターフ゛ロスヘ゛クター	56	E	Е	Е	В	Е	Е	12	消	8
6	タイソウ	丸山	モーリス	ロベルト	ダイワメジャー	サンデーサイレンス	56	C	В	В	С	В	В	10	Δ2	12
7	エフフォーリア	横山武	エピファネイア	ロベルト	ハーツクライ	サンデーサイレンス	56	В	В	С	С	В	В	4	Δ1	1
8	レフトゥバーズ	戸崎	ディープインパクト	ディープインパクト	Tapit	エーピーインディ	54	В	В	В	Α	В	В	3	0	9
9	ヴィクティファルス	松山	ハーツクライ	サンデーサイレンス	Galileo	サドラーズウェルズ	56	D	С	С	С	С	D	7	消	2
10	ハートオブアシティ	大野	ハーツクライ	サンデーサイレンス	Anabaa Blue	ダンジグ	56	D	C	D	С	D	D	11	消	10
11	シャフリヤール	福永	ディープインパクト	ディープインパクト	Essence of Dubai	エーピーインディ	56	Α	В	В	Α	В	Α	2	☆	3
12	カイザーノヴァ	坂井	モーリス	ロベルト	スペシャルウィーク	サンデーサイレンス	56	C	D	С	С	D	D	8	△5	6

※評価はこのレース中の相対評価になります

# PREVIEW

近年では出世レースとして認識されている共同通信杯だが、今年はそんな出世レースの歴史の中でも稀に見る好メンバーが集まった印象。1~6番人気ぐらいまでの馬が例年ならば1番人気になっておかしくないレベルだと思いますし、このメンバーの中からクラシックを勝つ馬が1頭は出てきそう。そんな超ハイレベルなメンバーということを踏まえて予想を組み立てたい。

本命はクラシック候補と見ている<mark>◎ステラヴェローチェ</mark>が有力か。クロノジェネシスと同じノーザンファーム生産のバゴ産駒。この血統で高速決着のマイルなんて向かないと思うが、前走の朝日杯は能力だ けで突っ込んできて2着に走ってきたか。もともと距離は持つはずですし、能力も世代最上位級と見て間違いない。次走注目馬にしていますし、特に評価を落とす理由が見つからない。

### REVIEW

スローペースにはなると思っていたが、蓋を開けてみればこちらが思っていたよりも2秒近く遅い鬼スローペース。ラスト2ハロンだけの決め手比べになり、相対的に前にいた馬が有利になった。豪華なメンバーが揃っていたが、その底力が問われたレースとは言いづらく、道中で緩い流れを我慢するという経験値が問われたレースだと思います。今回の着順は条件やペースが変わればあっさりと入れ替わるでしょう。

## ※文字色の意味

2021/2/14

赤…GOOD妙味大な馬 青…BAD危険な馬

た…DARKHORSE穴馬

## コース特徴

前半から中盤がゆったり進んで、直線での瞬発力勝負になりやす

# 馬場レベル&バイアス

B=やや速い

#### 血統傾向

前半から中盤がゆったりと流れて後半の瞬発力勝負になりやすい ため、ディーブインパクト度動が活躍しやすい。一方でちょっと よくわからないのが、毎年のようにサドラーズウェルズの血を持 つ馬が好走している点。

#### 展開

タイソウが逃げる展開か。頭数も多くないのでスローペースに落 ち着きそう。決め手勝負だろう。

# データなど特記事項

△7番人気以下(0-0-2-47)×関西馬で単勝15倍以上(0-0-0-13)

- ○東京スポーツ杯2歳8(2-1-1-2)
- ×前走1勝クラスで4着以下(0-0-0-14)
- ×前走未勝利(0-0-0-10)
- ○距離短縮組が優勢
- ×前走1600m以下だった馬で当日6番人気以下(0-0-0-18)

### 危険な馬

キングストンボーイ=前走はかなり怪しいと見ていたが、ルメール が完璧に乗ったとはいえ代馬の強敵ステラリアに勝ち切ったのは 見事。今回はそこからさらに強くなって厳しいとは思うが、なん だかんだでルメールが乗るというのは怖い。さすがに今回のメン バーに入ればそこまで人気しないか。

# 妙味大な馬

シャフリヤール、ステラヴェローチェ、ディオスパリエンテの3 頭は普通に強い

### 穴馬

タイソウ=厩舎で最も活躍したサダムパテックが引き合いに出されるぐらいに指揮官が期待しているような馬。 昇級初戦だった前走はスローベースからの加速勝負に全く対応できずに惨敗でしたが、 もうかなりの大跳びの馬でもあるので中山コースのスローベース戦なんて全く合わなかったか。

想定時計	上3F	下3F
01:45:8	35.8	34

## 想定ラップタイム

12.8 -11.2 -11.8 -12.1 -12.1 -11.8 -11.6 -11.0 -11.4

Copyright (C) 2014 - KAZ AllRightsReserved. 本資料の一部または全部を、許可なく再配 布することを禁じます。

枠番	名前	騎手	印	総合評価	想定人気	PREVIEW	結果	REVIEW
	ディオスバリエンテ	石橋脩	<b>A</b>	A	5	新馬戦は上位馬が軒並み活躍している超ハイレベル戦。特に2着に倒したのがボーデンということを考えても、普通に考えればクラシック級と考えるのが妥当。 初戦のレースぶりだけを見るとセンスも良さそうだが、この血統は使っていくうちに気性難になって崩れていく点がネック。それが今回なのか次回なのか、まともに走れば上位争い確実だろうが・・・	11	この血統はとにかく初戦しか走らずに気性面に問題が生じて出世できない傾向。ただ、今回に関しては超スローでキレ負けしただけの可能性もあるのが難しい。評価は次走に持ち越し。
2	キングストンボーイ	ルメール	Δ3	С	6	前走はかなり怪しいと見ていたが、ルメールが完璧に乗ったとはいえ牝馬の強敵ステラリアに勝ち切ったのは見事。今回はそこからさらに強くなって厳しいとは思うが、なんだかんだでルメールが乗るというのは怖い。さすがに今回のメンバーに入ればそこまで人気しないと見ているが・・・	4	使うごとに良化している。父ドゥラメンテと兄エボカドーロの特徴は 受け継いでいそうで、小回りコースで一瞬の脚を使う競馬が合いそ う。それこそ皐月賞トライアルなんてぴったりに見える。
3	ステラヴェローチェ	横山典	0	A	1	クロノジェネシスと同じノーザンファーム生産のバゴ産駒。この血統で高速決着のマイルなんて向かないと思うが、前走の朝日杯は能力だけで突っ込んできて2着に走ってきたか。もともと距離は持つはずですし、能力も世代最上位級と見て間違いない。次走注目馬にしていますし、特に評価を落とす理由が見つからない。	5	今回はキャリア初の超スロ一戦でキレ負けしただけ。朝日杯を見ても 追走スピード性能は問題なく、タフ馬場適性もある。これで人気を落 とすなら皐月賞の本命はこれでいいのでは?
4	プラチナトレジャー	田辺	△4	C	9	今までの戦績を見ても、母父クロフネの血が強く出ているサウスポーか。東スポ杯は脚を余しての4着だったが、今回はそこと比較しても遥かに強いメンバーが集まった点がネック。キャラ的にもペース流れて持続力勝負になって良さが出そうなので、新味に期待してみたい。	7	最後までしっかり伸びていたが、強力メンバー相手に超スローでは厳 しかった。距離は問題なさそうなので、大寒桜賞や青葉賞あたりで一 気にパフォーマンスを上げてくる可能性あり。
5	ディープリッチ	北村宏	消	E	12	新馬戦の後の2戦を見てもスピード不足は明らか。新馬戦の時のようなタフな馬場でなければスピード不足を露呈して終わるだろう。	8	この馬が逃げたのは想定外。超スローベースで展開は向いていた。上 級戦になると馬場が渋らなければスピードが足りない。
6	タイソウ	丸山	Δ2	В	10	厩舎で最も活躍したサダムバテックが引き合いに出されるぐらいに指揮官が期待しているような馬。 昇級初戦だった前走はスローベースからの加速勝負に全く対応できずに惨敗でしたが、もうかなりの大跳びの馬でもあるので中山コースのスローベース戦なんて全く合わなかったんでしょう。今回は東京コースで積極的な競馬ができれば大穴を開けていいはず。	12	最後は流していた。とにかくワンペースなのでスローの瞬発戦で控え る競馬なんて合わないはず。距離は2200mぐらいあったほうがよさそ うで、とにかくキレの問われない舞台で逃げて欲しい。
7	エフフォーリア	横山武	Δ1	В	4	デビューから2戦を見てもスケールの大きさを感じる走りでクラシックに乗ってきてもおかしくなさそうな素材。前走で折り合い不安 を見せた点はネックだが、ここで走ってきても驚けない馬だろう。ただ、今回はちょっと相手が強すぎる感じがするのがネックです。	1	完勝となったが、今回に関しては超スローで位置取り面に恵まれた。 センス抜群でコーナー4回を経験している点は強みだが、皐月賞はス ローの立ち回り勝負になって欲しいだろう。
8	レフトゥバーズ	戸崎	0	В	3	初戦のレース内容は牝馬ということを考えれば圧巻のパフォーマンス。今回はクイーンCを除外されたことで共同通信杯に回ってきたが、もともとこちらにも登録するぐらいの素質ということだろう。素質的には通用していいと思うが、かなり小柄な馬だけにスムーズな競馬ができなかった時に不安が残る。	9	直線で終始内と外から挟まれて全開スパートができていない。小柄な 馬だけに、初戦のように馬群の外に出してこそなのかも。この一戦だ けでは能力や適性距離などなんとも言いにくい。
9	ヴィクティファルス	松山	消	D	7	初戦で倒した馬は次走で全く活躍しておらずレベルが疑問。シルバーテーストの近親にあたるが、ガリレオの血が強く出ているようであんまりキレないハーツクライ産駒という感じか。普通の重賞ならまだしもこの世代で一番のハイレベル戦になった感じのここでは厳しそうだ。	2	松山騎手が完璧にエスコートしたのは事実だが、それにしてもこのス ローの瞬発戦に対応できたのは驚き。どう考えてもスタミナ向きの馬 で長い目で見たい。阪神の菊花賞は合いそう。
10	ハートオブアシティ	大野	消	D	11	未勝利勝ちの内容からも水準レベルの能力はありそう。ただ、基本的にはスタミナ寄りのハーツクライ産駒という感じで、今回の高速 馬場の東京芝1800mという条件は微妙な感じ。さすがにキレ負けするんじゃないだろうか。	10	今回は超スローの瞬発戦で途中で動く競馬で何もできず。未勝利勝ち の内容からもキレの問われない大箱スタミナ戦なら普通に強そうです し、使う条件を間違え続けている感が否めない。
11	シャフリヤール	福永	*	A	2	新馬戦当時の京都の馬場はかなりタフな状態。2歳新馬にとってはかなり過酷な馬場で、そんなコンディションの中で加速ラップでまとめて楽々と突き抜けたこの馬は間違いなく強い。新馬戦後のレビューでもこの世代の最上位でクラシック候補と評しましたし、ここまで間隔を開けて共同通信杯を使ってきたのも陣営の自信の現れだろう。	3	超スローで完全に脚を余していた。地力だけで突っ込んできた感じ で、全兄アルアインという点からも完全に適性外だろう。クラシック なら皐月賞という馬だけにこの3着は非常に痛い。
12	カイザーノヴァ	坂井	△5	D	8	マイル前後の距離なら相当に強いはずのラヴケリーを倒しているだけあって能力自体はたりて良さそうだが、ここまでの走りを見る限り溜めないと良さが出なそうな馬。とは言ってもモーリス産駒なので溜めて上質なキレが使えるわけではなく、高速馬場の東京芝1800mではさすがにキレ負けするだろう。	6	溜める競馬で最後はしっかり伸びてきた。距離は全く問題なさそうで もっと伸びたほうがいいかも。2000mぐらいで若干上がりがかかるよ うな条件なら重賞級では?